

みんなが知らない！
南アフリカのこと

ワークシート

1. 「南アフリカ」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。

2. 南アフリカがかかえている課題を解決するために、どういう取り組みをしたらよいと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

3. 将来、南アフリカで仕事をするとしたら、あるいは、南アフリカの人と一緒に仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。それはなぜでしょうか。

年 組 氏名

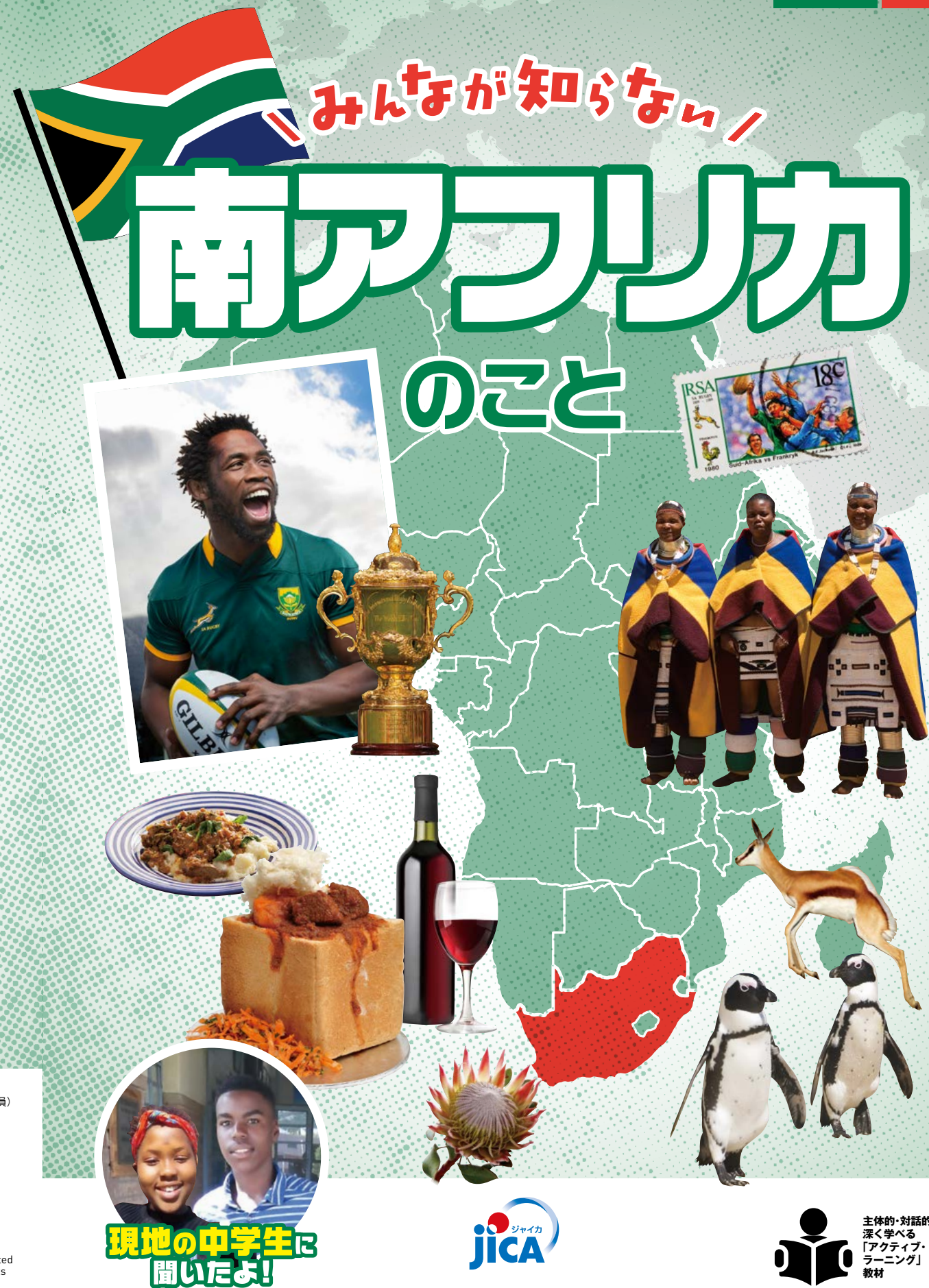
2021年5月1日 初版発行
発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30~17:45)
E-mail：6rta3@jica.go.jp
URL：https://www.jica.go.jp/



※国旗は、国連と同じ3:2のサイズで掲載しています。

監修：佐藤千鶴子(日本貿易振興機構 アジア経済研究所 主任研究員)
落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
編集協力：株式会社WILL
表紙写真：©JICA, ©Alamy / PPS通信社, ©Getty Images, ©Shutterstock.com
イラスト：伊藤美樹, セキサトコ
デザイン：chocolate.

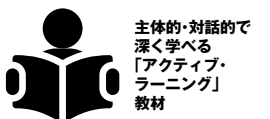
国連SDGs HP(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.



現地の中学生に
聞いたよ!



JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。



なぜラグビーが 人々の心を 熱くするのかが

オランダ、イギリスの植民地支配を経て独立した南アフリカ。さまざまな人種が暮らし、少数派の白人が多数派の黒人を支配してきた歴史をもつこの国で、ラグビーが人々の心をつなぎました。

南アフリカが目指した『ワンチーム・ワンカントリー』とは……？

南アフリカ共和国
The Republic of South Africa



国旗の由来

赤は独立と黒人解放のために流された血、緑は農業、黄は鉱物資源、青は空と海、黒は黒人、白は白人、横向きのYは多人種共存の社会への願いをあらわす。



©David Rogers /ゲッティイメージズ

彼らはともにプレーし、見事なチームをつくっている。それこそが、人生と国についての美しい物語だ——フランソワ・ピナル(1995年の初出場・初優勝時の主将は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会の優勝[写真]をたたえた。)

悲願の優勝に向かって 国民の心をついに!

2019年、ラグビーワールドカップ日本大会。準々決勝で日本を破った強豪南アフリカは、3度目の優勝を果たし、スタジアムを埋め尽くした観衆と南アフリカ全土を歓喜にわかせました。

金色に輝く優勝カップを高く掲げた主将シャ・コリシ(表紙写真・上の写真中央)は、南アフリカのラグビー130年の歴史上、初の黒人主将。貧しい家庭に生まれ、奨学金を得てラグビーを続けてきた選手です。

南アフリカ国民の大多数を占める黒人などの有色人種は、少数の白人が絶対的優位をもつアパルトヘイト(人種隔離)政策のもと、政治・経済や生活のあらゆる面で厳しい差別を受けてきました。しかし、国内の反アパルトヘイト運動の高まりと、国際社会からの厳しい非難や圧力を受け、1991年、アパルトヘイト撤廃を宣言。とはいえ、長い時間をかけて分断された人種間の溝は、簡単には埋まりませんでした。

ラグビーもその一つ。多くの黒人は「白人のスポーツ」であったラグビーに関心がなく、むしろ敵意さえもっていたほどです。しかし、

1994年に初の黒人大統領となったネルソン・マンデラは、人種間の和解と融和を目指し、スポーツの力を信じたのです。1995年にはラグビーワールドカップの自国開催にこぎつけ、「ワンチーム・ワンカントリー」のスローガンのもと、ラグビーや白人を嫌う黒人たちに「我々のチームを愛してほしい」と説いて回ったのです。多くの国民の応援を受け、チームは快進撃を続け、「ワンチーム・ワンカントリー」の絆は、ついにチームを奇跡の初優勝へと導きました。人種を超え、心をついにする素晴らしさをラグビーが人々に伝えた、輝かしい瞬間でした。





©Alamy/PPS通信社

2019年11月、ラグビーワールドカップ日本大会の会場にまで駆けつけた熱狂的なファン。人種を問わず、声援を送った。

生まれたときから、肌の色や育ち、宗教で他人を憎む人などいない。

人は憎むことを学ぶのだ。

もし憎しみを学べるのなら、愛を教えることもできる。

愛は、憎しみに比べ、より自然に人間の心に届く。

— ネルソン・マンデラ

「虹の国」へ マンデラの理想に向かって

2013年に95年の生涯を閉じてからも、「南アフリカのタタ(お父さん)」と慕われ続けているネルソン・マンデラ。

彼は、1918年、南アフリカ連邦に生まれました。この地は大多数の国民が黒人であるにもかかわらず、少数の白人が土地や富、政治の実権を握る差別的な社会。そんな中でも首長の息子であったマンデラは大学へ進学し、国内初の黒人による法律事務所を開設しました。

しかし社会の差別的な構造は、時代とともに悪化。肌の色により、住む場所や仕事内容、教育や公共施設の利用などを法律で制限し、差別するアパルトヘイト(人種隔離)政策が、1948年以降、本格的に展開されていきました。

若きマンデラは、すべての人種の公民権を求める政党・アフリカ民族会議(ANC)に参加。やがて急進化していく抵抗運動のリーダーとなりますが、のちに逮捕され、1964年に終身刑を宣告されてしまいました。

その後、反アパルトヘイト運動は世界に広がっていき、マンデラは1990年に釈放されま



©Alessia Pierdomenico / Shutterstock.com

ネルソン・マンデラ

1918~2013年。南アフリカの反アパルトヘイト運動を率いた指導者。南アフリカ初の黒人大統領(1994~1999年在任)。



©Getty Images

す。世論に後押しされ、アパルトヘイトは撤廃へと向かいました。撤廃を決断したフレデリック・ウィレム・デクラーク大統領とマンデラは、1993年にノーベル平和賞を共同受賞します。1994年には、南アフリカ史上初めて、全人種が参加する総選挙が行われ、マンデラは南アフリカ初の黒人大統領となりました。

マンデラが目指したのは、「虹の国」。肌の色が異なる人々が差別なく共存する国家です。そして彼は、分断された人種間の融和と、子どもたちの教育の徹底に力を尽くし、1999年に政治の世界から引退しました。彼のドラマチックな生涯は、『マンデラ 自由への長い道』や『インビクタス/負けざる者たち』など数々の映画に描かれています。

英語で学ぶキーワードと名言

Forgiveness ……許す心

アパルトヘイト撤廃後、マンデラが白人以外の人々に訴えたのは、「白人に対して憎しみを捨て、許す心をもつ」ことでした。

Education is the most powerful weapon which you can use to change the world.

教育とは、世界を変えるために用いることができる、最も強力な武器である。

7月18日 ・コラム・
ネルソン・マンデラ国際デー

マンデラの功績をたたえて、国連が2009年に定めた記念日です。マンデラが生涯の67年間をアパルトヘイト撤廃のための闘争に捧げたことから、国連は、彼の誕生日に当たるこの日に「だれかのため、社会のために67分間の奉仕活動」を実践することを呼びかけています。

2010年には、サッカーワールドカップの開催にもこぎつけた。マディバ(マンデラの出身氏族の名)の愛称が書かれたプラカードで開催への感謝をあらわす人々。

「法律による差別」はなくなった南アフリカですが、彼が大統領を退いて20年以上のときがたった今でも、社会的・経済的な格差が残り、白人に比べて黒人の失業率が高いという状況は、現在でも続いています。

それでも、人々の意識は変わりつつあります。マンデラが理想とした国に向けて、今も歩み続けているのです。



南アフリカって どんな国?

コサ語・ズールー語・ソト語であいさつ!

コサ語
エンコーシ
Enkosi
ありがとう

ズールー語
サウボナ
Sawubona
こんにちは

ソト語
ケ コバ
Ke kopa
ツアレロ
tšoarelo
ごめんなさい

Q どんなどころですか?
過ごしやすい?

A 自然だけじゃなく、
大都市もある!

南アフリカは、都市の近くで雄大な自然が見られ、観光でも人気です。国土が広いので、さまざまな自然の風景に出合えるのも魅力。四季があって、折々の景色が楽しめます。

くわしくは▶10ページ



プレトリアの春(10月ごろ)の景色。ジャカランダの花が街を紫に彩る。

Q 日本に来ているもので、有名なものは何?

A ダイヤモンドなどの鉱物が有名です!

鉱物資源が豊富で、ダイヤモンドのほか、特にプラチナは世界一の生産量を誇り、自動車をつくるのに欠かせないものとして、日本にも多く輸出されています。

くわしくは▶14ページ



プラチナを採掘する、鉱山の様子。

Q どんな料理を食べているのかな?

A いろいろな種類の料理を食べます。

歴史的にルーツの異なる人々が住んでいるので、バラエティーに富んだ料理があります。最も人口の多い黒人は、主食にパップを食べますが、白人はパンが主食です。

くわしくは▶12ページ



とうもろこし粉を練ってつくるパップは、東南部アフリカで広く食べられている主食。

Q どんな音楽を聞くの?

A ダンスミュージックや、ジャズ音楽などが人気

多くの人種が暮らしていて、好みの音楽も違います。黒人の若者は、ノリのよいダンスミュージックを好む人が多いようです。テレビやラジオではさまざまな音楽が流れています。

くわしくは▶13ページ



有名ミュージシャンが世界中から集まる、アフリカ最大のジャズフェスティバル。ケープタウンにて。

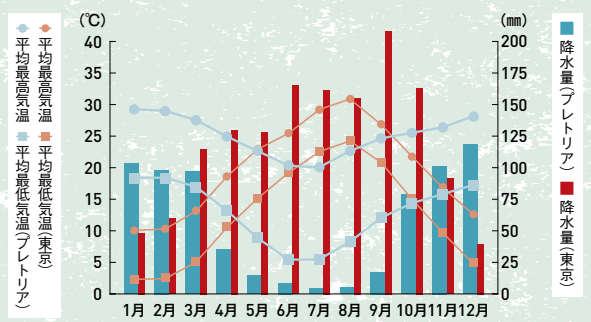
データで見る南アフリカ

- 基本情報**
- 人口: 5930万人(日本の約1/2)(2020年推計値)
 - 面積: 122万km²(日本の約3.2倍)
 - 人口密度: 48.9人/km²(2020年)[日本346.9人/km²]
 - 首都: プレトリア(行政府)、ケープタウン(立法府)、ブルームフォンテイン(司法院)
 - 言語: 英語、アフリカーンス語、ズールー語、ンデベレ語、ペディ語、ソト語、スワジ語、ツォンガ語、ツワナ語、ヴェンダ語、コサ語など
 - 宗教: キリスト教(人口の約80%)、ヒンズー教、イスラム教など

※人口密度は、推計人口とは出典が異なるため、計算すると値が異なる場合がある。

●年間平均気温と降水量(プレトリア)

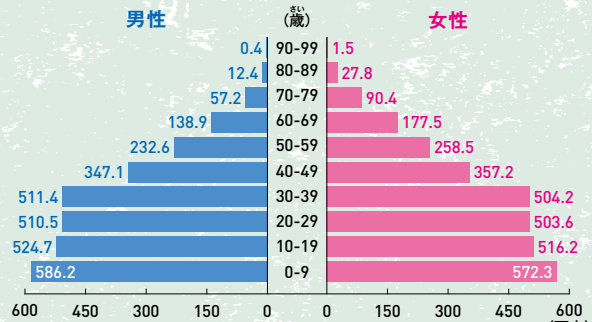
行政首都プレトリアは真夏でもカラッとしています。砂漠やサバナなどもあり、地域によって気候が違います。



出典: 世界気象機関

●人口構成(2020年)

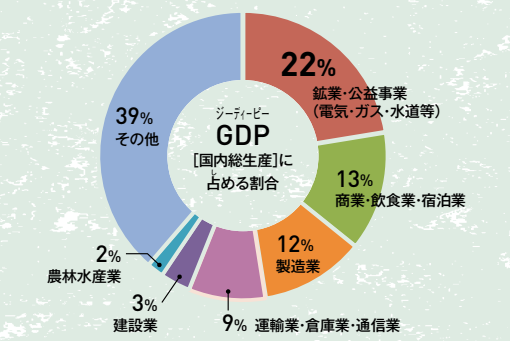
釣鐘形の人口構成で、30歳未満の若者が半数以上を占めます。



出典: 「世界人口推計2019年版」(2020年推計値)

●主な産業(2019年)

鉱物産業や製造業のほか、サービス業も盛んです。



出典: 国連「国民経済計算データベース」



教えて！ 南アフリカの中学生のこと

教えてくれたのは

ムンヤイ・シンシアさん

ベレ中等学校の8年生、14歳。



こんにちは！
中学生のことを紹介するね！

教えてくれたのは

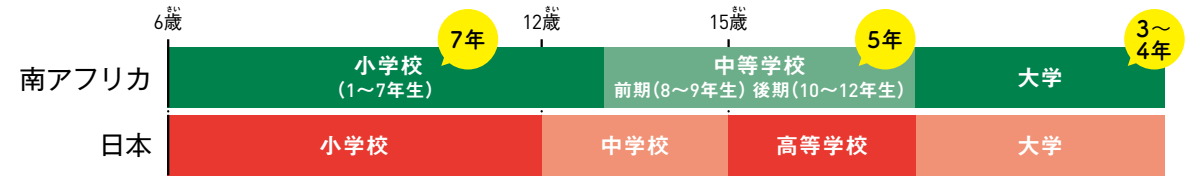
アサクンドウイさん

ベレ中等学校の10年生、16歳。



ぼくらの学校は、南アフリカの北部、ジンバブエとの国境近くにあるよ。

学校制度



Q どんな名前が多いの？

A 男性はNdivho、女性はNdivhuwoが多い名前だよ。それぞれ、知識、幸福という意味なんだ。

南アフリカでは、多様な民族が、それぞれ自分たちの言葉や伝統にちなんだ名前をつけます。下の表以外に、ヨーロッパ系の人にはキリスト教にちなんだ名前などをつけます。

名前	性別	由来	意味
パチュヅェジョ	男性	ズールー語	祝福
ムラロ	女性	ズールー語	平和
ジャブラニ	男性	ズールー語	喜び
カヤ	女性	ズールー語	安らかな場所
マンドラ	男性	ズールー語	力
レラト	女性	ソト語	愛
レボハン	女性	ソト語	感謝
シボ	男性	コサ語	贈り物
タボ	男性	ツワナ語	喜び
イカ	女性	アフリカンス語	水
ルーアン	男性	アフリカンス語	ライオン

Q 趣味は何ですか？

A 読書です！メイクやおしゃれも好き。

Q 何の教科が好き？

A 自然科学と技術が得意！

Q 好きな食べ物は？

A お米が好き。おやつだったら、コーンチップスやチョコレートかな。

Q 将来、何になりたい？

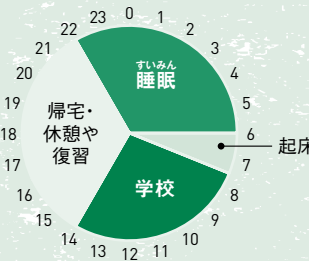
A 将来なってみたいのは、弁護士のなの。

Q 日本のことは知ってる？

A あまりよく知らないけれど、日本はクールで楽しい国だね。それから、寒くて雪が降るって聞いたことがあるよ。

Q 一日のスケジュールを教えて！

A 学校は7時半から14時まで。好きな教科は英語だよ。でも、いちばん好きなのは16時くらいの家で過ごす時間かな。



南アフリカの義務教育は、日本と同じ9年間。中等学校前期の9年生までです。新学期は1月から始まります。1~3月、4~6月、7~9月、10~12月の4学期に分かれていて、春休みと秋休みは短いですが、夏休みと冬休みは1か月くらいあります。

Q お気に入りの食べ物は？

A やっぱり牛肉だよ。甘いものは苦手で、おやつにはよくコーンチップスを食べるよ。



©Konmac / Shutterstock.com

Q 日本のことは知ってる？

A 日本は、人がたくさんいる大きな国ってイメージかな。

Q 将来、何になりたい？

A 機械のエンジニア。父が車の修理をするときに手伝ったりしているんだ。





大都市と自然が隣り合わせの国

南アフリカは、アフリカ大陸で最も発展している国の一つです。広い国土にはいくつもの都市が点在しています。

たとえば、高層ビルの立ち並ぶヨハネスブルグは、19世紀のゴールドラッシュ*をきっかけに、鉱山都市として発展した大都市です。近くには行政首都プレトリアがあります。

南西部の都市、ケープタウンは、ヨーロッパとアジアをつなぐ船の補給地として栄えました。市街の近くには先住民のコイサン人により、「神の山」とあがめられてきたテーブルマウンテンがそびえ立ちます。また東のダーバンは、アフリカ最大の港をかかえる港湾都市です。

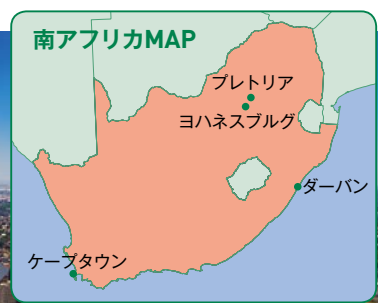
これらの都市から少し離れれば、ダイナミックな自然があることも、この国を魅力的にしています。南アフリカは、観光地としても人気があるのです。



テーブルマウンテンが背後にそびえるケープタウン。



ヨハネスブルグは、経済の中心地。アフリカ屈指の大都市でもある。



南アフリカMAP
プレトリア
ヨハネスブルグ
ダーバン
ケープタウン



ケープタウンそば、ケープ半島の先端近くの岬は「喜望峰」の名で知られる。ケープペンギンやアザラシの生息地がある。

特にケープタウン周辺は、地球上で最も多様な生き物が生息する場所の一つといわれていて、一帯は世界遺産にも登録されています。植物では約6000種もの固有種が確認されるなど、自然の豊かさに目を見はります。

南アフリカ全体を見ても、自然は多様性に富んでいます。国土の広さゆえに、東西南北にはさまざまな気候帯が広がっていて、砂漠ありサバナあり草原あり、日本に近い温暖湿潤な地域もあって、土地に合った豊富な生き物が生息しています。多くの野生動物が暮らす国立公園も各地に点在しています。このように、南アフリカは、都市と自然が混在した、魅力あふれる国なのです。



ケープタウン周辺に咲くキングプロテア。南アフリカの国花にもなっている。開花時期は9～12月ごろ。



西部にあるカラハリ砂漠。



サバナにすむスプリングボックは、ラグビー南アフリカ代表の愛称にも使われている。

*ゴールドラッシュ…新しく発見された金鉱に、金を得ようとして人々が一斉に押しかけること。



まじり合う、 さまざまな文化!

ズールー語
クムナンディ
Kumnandi!
おいしい!

英語
デリシャス
Delicious!
おいしい!

南アフリカには、もともと住んでいたコイサン人や黒人のほか、ヨーロッパやアジアにルーツをもつ人々がたくさん暮らしています。さまざまな文化が根づき、それらはときに混在し、共存し、融合しながら魅力を放っています。料理も、その一つ。ルーツをたどりながら、おいしい南アフリカ料理を紹介します。

食パンが四角いのは日本と同じだね!

バニー・チャウ

東部の都市、ダーバン発祥の料理。くり抜いた食パンにカレーを詰め込んだもの。カレーはインド人、角食パンはイギリス人がルーツ。アパルトヘイト政策によってレストランに入れなかったころ、黒人やインド人がもち帰るための料理だった。



ポポティ
ケープタウンの料理。ひき肉に、スパイスやナッツ、ドライフルーツをまぜ、溶き卵を流して焼いたもの。かつてオランダ人に奴隷として連れてこられたインドネシア人の料理がルーツ。

ブルボス
香辛料をきかせた長いソーセージを渦巻状にしたもの。ボーア人も呼ばれるオランダ系移民が持ちこんだ。ブラーイといわれる伝統的なBBQでも焼いて食べる。

パップとチャカラカ
パップは東南部アフリカで広く食べられる黒人の主食の一つ。豆のトマト煮チャカラカなどを添えて食べる。チャカラカは、ヨハネスブルグがゴールドラッシュにわたった19世紀、鉱山労働者がよく食べていた。

公用語と国歌

多くの人種、民族が住む南アフリカには、11の公用語があります。それを象徴するのが国歌です。特に話す人の多い5つの公用語から成り立ち、節ごとに言語が変わります。1997年、マンデラ大統領によって制定されました。



国歌斉唱をするラグビー南アフリカ代表。

National Anthem of South Africa

コサ語
Nkosi sikelel' iAfrika
Maluphakanyisw' uphondo lwayo.

ズールー語
Yizwa imithandazo yethu,
Nkosi sikelela, thina lusapho lwayo.

ソト語
Morena boloka setjhaba sa heso,
O fedise dintwa le matshwenyeho,
O se boloke, O se boloke setjhaba sa heso,
Setjhaba sa, South Afrika – South Afrika.

アフリカンス語
Uit die blou van onse hemel,
Uit die diepte van ons see,
Oor ons ewige gebergtes,
Waar die kranse antwoord gee,

英語
Sounds the call to come together,
And united we shall stand,
Let us live and strive for freedom
In South Africa our land.

南アフリカ国歌

日本語訳
アフリカに神のご加護を
神の栄光を高くかかげよう

我らの祈りをお聞きください
我らと子孫に神の祝福があらんことを

神よ 祖国を守りたまえ
すべての争いを終わらせてたまえ
我らと我らの祖国を守りたまえ
我が祖国 南アフリカ 南アフリカ

青き天上から
深き海から
険しき永遠の山の頂から
鐘の音が鳴り響く

団結の声が聞こえる
結束を固めよう
自由を求めて生きるべく
南アフリカ 我が祖国

南アフリカの魅力を語るには、アートの存在も欠かせません。音楽では、クワイトやゴムといった独自のダンスミュージックが、黒人の若者を中心に盛り上がりを見せています。伝統音楽に、ブルースやジャズ、ロックなどを取り入れたバンドは、人種を問わず人気です。最近では、『Jerusalem』という曲で、“踊ってみた”動画を投稿するのも流行しています。

また、工芸品では、ンデベレ人の伝統的な模様も世界から注目を集めています。彼らのビーズ製品や壁画は色彩にあふれ、魅力的です。南アフリカでは、新しいもの、伝統的なもの、その両方が息づいています。



1.クワイトは現地の黒人が好む「ノリのよい」音楽。



2.黒人と白人の女性がボーカルを務めるバンド「フレッシュリーグラウンド」は、伝統音楽にさまざまな音楽要素を取り入れている。

ンデベレ人の女性の装いと壁画は、世界のデザイナーも注目!



©franco lucato / Shutterstock.com



つながってる! 日本と南アフリカ

南アフリカから日本に入ってきているものはたくさんあります。まずあげられるのは鉱物。ダイヤモンドや金、プラチナなど、豊富な鉱物が日本を含め世界中に輸出されています。ダイヤモンドや金は、南アフリカ発展のきっかけにもなった鉱物です。19世紀後半に手の



©Vladislav Gajic / Shutterstock.com

キンバリーのダイヤモンド鉱山の採掘跡。世界有数のダイヤモンド会社が営んでいた歴史があり、世界遺産として登録しようという動きもある。

ひらほどの巨大ダイヤモンド「スター・オブ・サウスアフリカ」や金鉱山が発見され、一攫千金を夢見て世界中から人が集まってきました。

その後、貿易拠点でもあった南アフリカの植民地の支配権を巡って、ヨーロッパの国の間で争いが起こります。そしてアパルトヘイト政策が生まれ、黒人と白人の間に格差が広がっていったのです。

また地方には、黒人が多く住んでいますが、雇用機会は限られています。そのため地域によっては貧困率が高く、都会と地方の格差も生まれています。貧しい地方からは、大都市や鉱山などへ出稼ぎに行く人がたくさんいます。



©Alamy / PPS通信社

賃金の引き上げを求めて、ストライキを行った鉱山労働者。地方からの出稼ぎ労働者が多い。

JICAの協力

基礎学力アップで貧困から抜け出す

南アフリカでは、法律上、人種の差別なく職業を選べることになっていますが、地方に住む人、特に黒人の失業率は高い傾向にあります。足し算・引き算などの基礎的な計算ができない人もたくさんいて、貧困から抜け出せません。JICAでは、南アフリカ政府と協力し、小学生の算数の新カリキュラムを作成したり、JICA海外協力隊員を派遣したりして、基礎学力をつけることから始め、よりレベルの高い教育に進み、仕事を手に入れる土台づくりをしています。



©JICA / Andrew Howes

JICAの協力

職業訓練校の充実で、手に職を!

南アフリカ政府は、現在30%を超えている失業率を、2030年までに6%に改善することを目標にしています。基礎的な教育に加えて、働きたい人が技術を身につけることを重要課題にしており、JICAでは、日本人の専門家を職業訓練校に派遣して、技能工の育成に協力しています。



©JICA

SUPPORT OF JICA

一方で、南アフリカには、日本食のレストランが建ち並び、日本車が走っています。南アフリカは、鉱業を主とした成長を背景に製造業が発展した、アフリカ屈指の経済大国の一つです。日本からもたくさんの企業が進出して、アフリカ大陸で最も多い約150社の日本企業が進出し、1400人(2018年)もの日本人が

暮らしています。

例をあげると、トヨタや日産、いすゞなどの自動車会社が南アフリカに工場を構えて自動車を生産しています。それらの工場では、現地の人もおおぜい働いていて、南アフリカの大きな課題の一つである失業率の改善にも一役買っています。



©JICA / Andrew Howes

自動車産業を支える中小企業支援のために、日本の専門家が南アフリカで活躍している。



©Getty Images

サファリで使われる日本車。

©WildSnap / Shutterstock.com

ケープタウンの回転寿司店。

リードオフジャパン(株)

【日本でも見つけてみよう! 南アフリカ産】

ジュースやワインなど、ぶどうを使ったものがあります。ぶどう栽培は、フランス移民が始めたものです。また、ルイボスティーも知られています。ルイボスは、先住民のコイサン人が薬草として利用してきたもので、健康によいお茶として世界中で親しまれています。



国分グループ本社(株)

©iulia_n / Shutterstock.com